

③ 本時の意図

本時は、オペラに出会う最初の時間である。今までに経験のない音楽表現に出会うため、感動的な出会いをさせたいと考える。そのため、まず荘厳な合唱演奏を聴いて情景の想像をさせる。また、オペラの持つ総合芸術としての要素について、写真や図などの視覚に訴える様な資料の提示により生徒の興味を引き出す方法をとることにした。テレビなどで耳覚えのある曲やオペラのアリアや、バレエ音楽など映像やCDで提示し、次時に鑑賞するオペラの要素として盛り込まれていることを想像させたり、教師の演奏を提示し、意識を高められるよう考えた。

④ 学習過程 (1 / 6 時間)

学 習 内 容	時間	形態	・教師の支援 ◎仮説との関連 ◇評価
1. 新曲を歌う。 「明日があるさ」	3分	一斉	・読譜力をつけるための新曲を歌う。 ◇本時の学習に対する意欲を高め、新しい音楽との出会いが、意欲的なものになるような選曲をする。
2. 本時の目標をつかむ。 情景を想像しながらオペラの豊かな音楽表現を感じ取ろう。	3	一斉	◎音楽との出会いを効果的にする提示の仕方を工夫し言葉かけを吟味する。 ◇本時の目標がつかめたか。
3. 「凱旋を祝う大合唱」を聴く。 ・場面を想像する。 ・音楽の演奏形態を考える。	8	一斉 個人	◎集中して鑑賞できるように短い時間での提示とする。 ・どんな場面での演奏なのか自由に想像させノートに書かせ発表する。 ◇演奏形態を考えることができたか。
4. オペラについて知る。 ①「運命の力」を聴く。 ②「野ばら」を聴く。 ③「白鳥の湖」を見る。 ④「魔笛」を見る。	25	一斉	・オペラが総合芸術であることを説明する。 ◎鑑賞意欲を高めるため、耳覚えのある有名な音楽を聴かせる。 ・オペラがどのようなものかを大きくとらえさせる。
5. 「凱旋を祝う大合唱」のビデオを見る。	6	一斉	◇情景を想像しながら豊かな音楽表現を感じ取ろうとしていたか。
6. 本時のまとめをする。 ・次時の予告をする。	5	個人	・学習カードに記入する。

〈検証授業Ⅱ〉

① 題材名 「オペラの魅力を味わおう」

② 本時の目標 (6 / 6 時間)

○ オペラの様々な表現を感じ取る。

③ 本時の意図

本時は、オペラの様々な表現についてグル

ープ活動での成果を発表し、「カルメン」を一つのオペラ作品として味わう時間である。前時までの学習で生徒たちは、「カルメン」の中で気に入った部分の演奏について演奏形態や場面設定について調べ、クラス全体へその音楽の魅力を紹介するための原稿を作成している。また発表の仕方やまとめ方についてグループごとに相談し、協力してすすめることができるよう配慮した。そして、オペラの魅力を楽しみながら鑑賞できるようにした。

④ 学習過程 (6 / 6 時間)

学 習 内 容	時間	形態	・教師の支援 ◎仮説との関連 ◇評価
1. 本時の目標をつかむ オペラの様々な表現を感じ取ろう。	3分	一斉	・前時までの活動を振り返り、オペラを通して見ることへの期待感をもたせる。 ◇本時の目標や活動内容についてつかめたか。 ◎劇場で見る状態に近い、場の設定をする。 ・暗幕 ・プロジェクター
2. オペラ「カルメン」を鑑賞する。 ・見どころを編集した「カルメン」をみる。	43 4	一斉 グループ 一斉	◎グループごとに調べた部分を抜粋したビデオを提示する。 ◎グループが発表する時は音量を下げてオペラの流れを止めないようにする。 ・演奏形態の把握や、場面設定の理解を助けるため、発表の補助をつとめる。 ◇オペラの様々な魅力を感じることができたか。 ◇クラス全体で表現の豊かさを共有できたか。 ・グループごとの発表の良さを紹介し、感想を記入する。
3. 本時のまとめをする。			

2 検証授業の実際と考察

(1) 検証の観点

① 魅力ある教材の選択をすることにより、生徒が主体的に鑑賞活動ができたかどうかを生徒観察からとらえる。

② 資料の提示の仕方や授業の展開の工夫により、鑑賞活動がより効果的に行われているかを、ワークシートの書き込みや、グループごとの紹介原稿からとらえる。

③ 生徒が、期待感を持ちつつ、音楽を深く味わって聴いているかを、生徒観察やノートのまとめからとらえる。